

住民部会ワークショップ

八千代台まちづくりプロジェクト 第1回ニュースレター



八千代台まちづくりプロジェクトによる「第1回住民部会ワークショップ（以下：WS）」が、平成28年6月27日（月）に開催されました。

まずは、第1回住民部会WSということで顔合わせを兼ねたWSとして、日本大学理工学部まちづくり工学科の岡田研究室の協力のもと、まちづくりプロジェクトの趣旨説明や、WSの事例紹介、WSの進め方を学ぶとともに、年間プログラム（10回予定）の作成や、グループワークの班決め（4地区）を実施しました。

その後、班ごとに分かれて、自己紹介や担当地区の魅力点や問題点について意見交換をしました。

住民部会WSは「途中から」でも、自由に参加し、発言できるWSを目指しています。市民として八千代台のまちづくりについて一緒に考えてみませんか。

住民部会 WS 当日プログラム

やっち

6月27日(月)14:00~16:00

【場所】八千代商工会議所 2階会議室

1. 開会
2. 部会長あいさつ
 - ◇ 部会長あいさつ
 - ◇ スタッフ紹介
3. 本プロジェクトの趣旨説明
4. WSの事例紹介・進め方
 - ◇ 岐阜県恵那市での取り組み事例の紹介ほか
5. WS開催(グループワーク)
 - ◇ 年間プログラムの作成
 - ◇ グループワークの班決め
 - ◇ 班別に自己紹介・意見交換
6. 閉会

八千代台まちづくりプロジェクトの趣旨

◆プロジェクト実施の背景

わが国では人口減少社会に突入し、地域経済の維持や人口減少問題の克服といった、新たな社会・都市問題に直面したことを背景に、平成26年11月に日本政府によって「まち・ひと・しごと創生法」が策定されました。これを受け、八千代市では平成28年3月に「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「絆(つな)がる・創る“和”のまち八千代」を基本理念に掲げ、その実現方策として「八千代台地域活性化人づくりまちづくり事業」を展開することとなりました。そのため、当事業の推進体制として、当プロジェクト「八千代台まちづくりプロジェクト」が発足するに至りました。

◆まちづくりを行うための組織づくり

当まちづくりプロジェクトは、地域の資源・まちを育てる『住民部会』、商売繁盛・人づくり仕事づくりを目指す『商業部会』、まちの分析や事業検討を行う『まち分析部会』の3つの部会で構成しています。(右図参照)



図 まちづくりプロジェクトと各部会の位置づけ

住民部会ワークショップの事例紹介・進め方、グループワーク開催

岡田研究室がこれまでに実際に取り組んできた岐阜県恵那市や東北復興プロジェクトにおけるWSの実施概要をはじめ、地域の魅力発掘方法、八千代台地区に展開した際の留意事項について説明を受けました。また、今後のWS運営方針を住民のみなさんで話し合い、WSの回数（10回程度）や年間プログラムや主な実施内容を討議し、自治会ごとにグループワークの班（4地区に分割）を決定しました。



趣旨説明の様子

当プロジェクトのマネージャー熊谷さんによる住民部会の位置づけ等に関する説明



岡田教授によるWS事例紹介

岡田教授が実際に取り組んできた事例を基に八千代台におけるWSでの留意点を説明



WSの開催状況

住民のみなさんで、WSの年間プログラムやグループワークの班体制について話し合い

グループ討議の結果概要

北東地区グループ

◆北東地区の魅力点

- ・静かで安全な住宅街である
- ・北市民の森や北子どもの森などのまとまった緑が多く、たかつ幼稚園に通う園児や保護者は、待ち時間に北子どもの森を利用している
- ・八千代中で検討された「八千代よいとこカルタ」も確認・報告したい

◆北東地区の問題点

- ・高齢化が進行しており、若者世代が極端に少ない地域であり、若者に居住してほしいと思っている
- ・居住地区から駅までのルートが単なる通り道になっている
- ・駅周辺の魅力情報が少ないので学生目線での情報提供がほしい
- ・八千代台グラウンドは、小中学校の運動会等で使用されていたが、管理者が変わってから使用できなくなった

東地区グループ

◆東地区の魅力点

- ・緑が多く静かな住宅街である
- ・犯罪件数が少ない
- ・水がおいしい
- ・住民同士の仲が良い
- ・高齢者の需要が高い

◆東地区の問題点

- ・小学校の統廃合で通学時間が30~40分もかかる児童がいるなど、子供が暮らしやすい環境となっていない
- ・区画ごとに開発業者が異なるため、場所によって道幅が極端に広かったり、車が通れないほど狭かったりと、まちに連続性がない
- ・車で移動する人が多く、ゆっくりとまちを見る機会が少ない

西地区グループ

◆西地区の魅力点・問題点・気になる点

- ・50年以上前にできた庭付きの一軒家の団地があったが現存していない
- ・西地区（北部）にはNTTの団地もあったが現存していない
- ・団地周辺は起伏が激しい場所もある
- ・八千代台西市民の森の一部が宅地化されつつあり、まちの緑が減少している
- ・西地区内では空き地が多くなっており、3階建てのワンルーム賃貸の建設が予定されており、その反対運動も発生している
- ・7月18日以降に各町会にてお祭りが行われる

南地区グループ

◆南地区の魅力点・問題点など

- ・南地区は1~3丁目までと比較的、狭い地域である
- ・狭い地域であるため、自動車移動の際に見落とされがちな地区でもある
- ・他地区にあるごみ収集置き場においてごみの回収が週3回から2回に減少したため、他地区の住民が南地区のごみ置き場に捨てるようになっている
- ・「八千代よいとこカルタ」のように、小・中学生と地域の将来についての議論や地域の取り組みをしていきたい

第1回住民部会ワークショップを振り返って

WSの感想

- もう少し女性や、若い人達に参加してほしい。
- 参加者の八千代台に対する熱い思いを感じた。
- 高齢化の進む時代の中1人1人が生き甲斐を感じるような街造りに明るさを感じた気がする。
- 八千代台地区は意外にも広く他地区の状況について自分はよく知らなかった。
- 時間が短くて、十分な意見が出にくかったと思うが、次回に期待している。

今後このWSに期待していること

- 10年後30年後の八千代台が若者も含めて存続するまちにしたい。
- 若者と高齢者、女性と男性それぞれのライフステージにあった、まちづくりの目標観の共有が深まることを期待したい。
- 子育て環境をよくする為の意見を期待したい。
- 年々増加している地域の高齢者が生き甲斐を感じるようなイベントの企画・情報の提供。
- 犯罪のない明るい町になってほしい。
- もう少し参加人数が増えて「何とかしたい」と言う方が増えてほしい。
- 住んでいる地域の再発見をしたい。
- 町が活性化する方策が出来ればありがたい。

WSで発言できなかった事、補足説明したいこと

- 八千代台東地区は八千代台駅はもちろんですが大和田駅に近い人も多いと思います。
- 八千代市の水道水は美味しいと聞いた事があるので確認したい。
- 折角なので夏祭り巡りや学校訪問もやってみたい。
- 多様な意見を持ち寄って話し合い、色々な事に挑戦し、一つ一つ結果を出し、住んで良かった・もっと住み続けたいと、若い世代の人を取り込んでいけるようなまちづくりを頑張っていきたい。
- まちの魅力は目で見たり、写真に写るものだけでなく、そこにあるお店や、保育園などの取り組みや活動も魅力だと思う。幼稚園で八千代の里山を活用した自然教育をしているところや、caféでまちおこしに取り組んでいるお店もあると思う。八千代台を中心にレンタサイクルなどで距離を縮める取り組みもありだと思ふ。
- 商業部会、まち分析部会とも横断的な情報交換ができればいいと思う。
- 出来るだけ早い時期に全住民のアンケートをもらいたい。出てきた人だけの意見ではなく出て来れない方も含めて全住民の意見を聞いて欲しい。
- 千葉市の花見川地区がみたい。

次回以降の主な流れ

6月27日(月)

第1回住民部会
ワークショップ(済)

○プロジェクトの趣旨説明、年間プログラム、班決めなど

10月上旬

成果の中間とりまとめ

○子供目線の魅力(八千代よいとこカルタ等)整理

7月12日(火) 18時~

第2回住民部会ワークショップ【場所】八千代台東南公共センター5階ホール

○机上フィールドサーベ(地域の魅力点・問題点等の発掘)

10~11月

八千代台地域のまちづくりコンセプトの検討

○これまでの成果を踏まえてコンセプト(キャッチフレーズ)を作成

7月18日(月・祝) 15時~

第3回住民部会ワークショップ【場所】八千代台文化センターホール

○まち歩き(地元の魅力点・問題点等の発掘)

11~12月

アクションプランの検討(1~2回程度)

○グループワークで市民や行政が実現可能なプランを検討

8月上旬

相互まち訪問

○一定期間を設けて住民独自にまち歩きを実施

12月上旬

最終成果のとりまとめ

○アクションプランを整理し、地域的価値とまちづくりビジョンを市民全体で共有する

8月下旬

一次資料づくり

○八千代台地域の魅力点・問題点の見える化

他部会や行政等と

適宜、連携しながら、

まちづくりに展開します

◇お問い合わせ先◇

八千代台まちづくりプロジェクト 事務局 熊谷・齊藤

電話(熊谷):070-3824-8930 E-Mail:yachiyodai.machi.project@gmail.com

〒276-0031 八千代市八千代台北 1-12(八千代台自治会事務所内)

発行者:日本大学理工学部まちづくり工学科岡田研究室

発行日:平成28年7月12日